

ひとが輝く創造都市  
諫早市

# 地域で取り組む鳥獣対策

～「自治会を中心とした捕獲隊の結成」～

## 諫早は地形的に気象的に大雨の歴史

集中豪雨が発生しやすい地形特性  
東シナ海からの湿った空気が湿舌となり大雨をもたらす

雨雲の発生  
集中豪雨  
上野気流  
雲仙山系  
高嶺平野  
湿った空気  
気流の収束  
湿舌  
低気圧  
高気圧  
低気圧  
高気圧

集中豪雨による低平地での湛水被害

諫早湾沿岸(諫早市)の10年平均(17～16年度)の年間総降水量は東京の1.4倍  
・日雨量90ミリを超える大雨の平均年間日数は東京の1.9倍

国交省HP

## 諫早大水害 昭和32年7月25日

悪夢の一夜は明けた：一晩の豪雨で街並みや人々が溺れ去った

写真：諫早市所有

本明川

あの目を忘れない

項目	被害者数	被害者数	被害者数
死者	2	1	3,522
全壊	2	1	1,445
半壊	11	1	1,712
床上浸水	90	1	1,445
家屋	32	1	1,445
小売店	0	1	1,445
小工場	0	1	1,445
小倉庫	0	1	1,445
小店舗	0	1	1,445
小事務所	0	1	1,445
小学校	0	1	1,445
小病院	0	1	1,445
小神社	0	1	1,445
小公園	0	1	1,445
小体育館	0	1	1,445
小公民館	0	1	1,445
小図書館	0	1	1,445
小郵便局	0	1	1,445
小警察署	0	1	1,445
小役所	0	1	1,445
小学校	0	1	1,445
小病院	0	1	1,445
小神社	0	1	1,445
小公園	0	1	1,445
小体育館	0	1	1,445
小公民館	0	1	1,445
小図書館	0	1	1,445
小郵便局	0	1	1,445
小警察署	0	1	1,445
小役所	0	1	1,445

諫早郵便局前付近 八天町

## 昭和57年7月23日長崎大水害被害

干拓地は堤防で守られている標高の低い土地(もともと海底)

小野野野の状況 諫早市撮影

冠水した農地

旧諫早市 死者2、全壊2、半壊11、床上浸水904

## 諫早市の概要

- 人口 139,970人
- 世帯数 51,682世帯
- 面積 321.28km<sup>2</sup>
- 気候 温暖

## 諫早市の魅力

- うまかもん

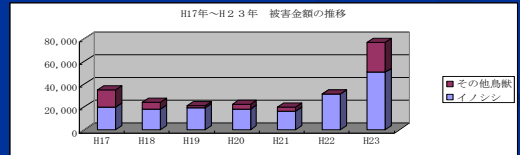
## ● 諫早市のイノシシ被害の経過

- 本市のイノシシ被害は、平成6年頃から目立ち始め、被害地区は、市北部の多良岳山麓の中山間部に集中していた。
- 近年は、耕作放棄地の増加に伴い、イノシシの棲みかとしては絶好の条件となっており、イノシシの生息地がだんだんと人里に近づいてきている。
- そのため、住宅地にもイノシシが出没し、農作物被害だけではなく、市民生活にも影響が出ている。



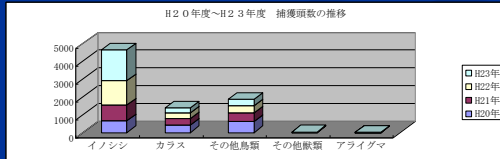
## 農作物被害金額の推移

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
イノシシ	19,808	18,193	19,433	18,370	16,585	31,555	50,581
その他鳥獣	15,144	6,158	1,579	4,349	3,674	187	26,117
計	34,952	24,351	21,012	22,719	20,259	31,742	76,698



## 有害鳥獣捕獲頭数の推移

	H20年	H21年	H22年	H23年
イノシシ	662	881	1380	1738
カラス	428	349	330	295
その他鳥類	627	474	420	366
その他獣類	0	18	18	4
アライグマ	0	0	0	6
計	662	881	1,380	2,409



## 「防護」対策について

### ・ワイヤーメッシュ柵及び電気柵の整備

年度	事業主体	種類	箇所数	延長	事業費
平成19年度	集団	WM柵	0箇所	0m	0円
	集団	電気柵	21箇所	18,000m	3,440,000円
平成20年度	集団	WM柵	5箇所	2,805m	2,025,000円
	集団	電気柵	27箇所	27,050m	5,081,000円
平成21年度	集団	WM柵	6箇所	4,370m	2,115,000円
	集団	電気柵	32箇所	31,750m	6,318,000円
平成22年度	集団	WM柵	11箇所	10,300m	4,709,064円
	集団	電気柵	17箇所	14,300m	3,333,477円
平成23年度	集団	WM柵	46箇所	60,150m	24,870,858円
	集団	電気柵	65箇所	95,250m	20,694,000円
平成24年度	集団	WM柵	72箇所	233,520m	103,183,000円
	集団	電気柵	39箇所	42,740m	11,112,000円
合計				540,235m	186,881,399円

## 「捕獲」対策について

### ・狩猟免許取得者及び有害鳥獣捕獲従事者の推移

単位：人・歳

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
新規免許取得者	10	9	34	34	43
猟友会有害鳥獣捕獲従事者	85	96	93	104	117
計	95	105	127	138	160
猟友会有害鳥獣捕獲従事者の平均年齢	62	63	59	63	62

## 「捕獲」対策について

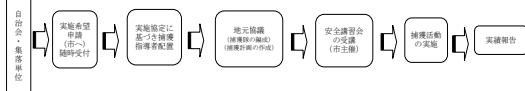
- ・ 地元猟友会による捕獲活動
- ・ ながさき有害鳥獣被害防止特区の活用
- ・ 箱わなの整備及び狩猟免許取得に対する助成  
箱わな購入補助 80%
- ・ 捕獲報奨金制度の活用
  - ・ イノシシ (1頭につき7,500円)
  - ・ アライグマ (1頭につき2,500円)



## 自治会説明時資料

### ながさき有害鳥獣被害防止特区

狩猟免許（わな罠）を所持していない者を狩猟免許取得者の指導・監督のもと、捕獲作業に従事させることができる。

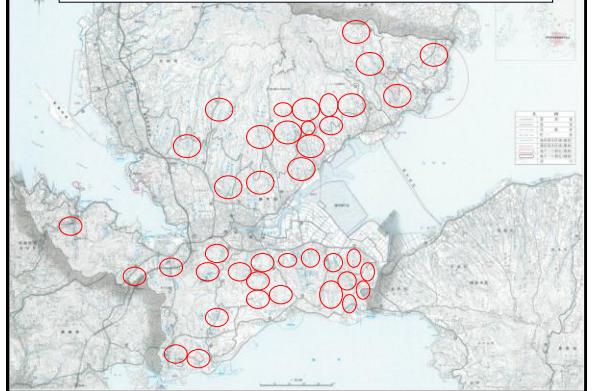


### イノシシ捕獲檻整備に対する支援

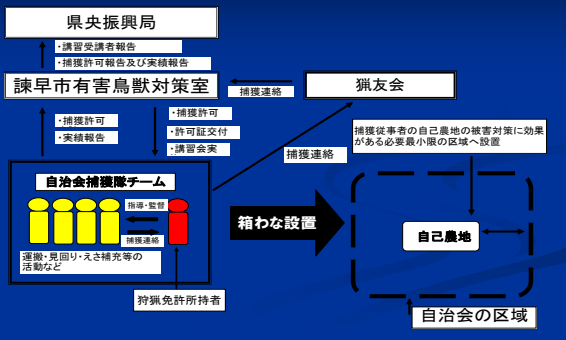
狩猟免許を持っていることが条件。（特区制度に基づき取り組む場合は不要）



## 「ながさき有害鳥獣被害防止特区」実施自治会位置図



## 特区捕獲隊のフロー図



## 特区捕獲隊について

### ○活動の推移について

年度	平成23年度	平成24年度
実施自治会	28自治会	40自治会
従事者数	336人	359人
捕獲頭数	91頭	95頭
「箱わな」購入数	170基	98基
取組期間	8月～10月	4月～翌年3月

H24年度の捕獲頭数は、12月末現在の推計値

## 特区捕獲隊について

### ○市及び猟友会の役割

市と猟友会は協定書に基づき各自の役割を定めた。

#### ■市

- ・狩猟免許無し捕獲従事者の安全教育（安全講習会の実施）

#### ■猟友会

- ・捕獲指導者の選任
- ・狩猟免許なし捕獲従事者への捕獲指導（箱わな設置指導etc）
- ・捕獲後の止め刺し



指導員の指導による箱わな設置



市が開催する安全講習会

## 特区捕獲隊について

### ○安全対策について

#### 捕獲従事者安全講習会

※講習内容

- ・特区制度の概要
- ・鳥獣保護法
- ・箱わなの安全対策

※捕獲指導員の指導監督が必要な事項

- ・捕獲時の止め刺し
- ・箱わなの移動と設置



市職員による「箱わな」の設置講習

1年に1回は、安全講習会受講を義務づけ



